

山陰の、こんな美しいふるさとを守りたい！

eco's 通信

2020
12
vol.326



コハクチョウが降り立つ “白鳥ロード”

安来市の中心部から南へおよそ10分、能義平野の通称「白鳥ロード」。

毎年、コハクチョウが越冬のため、シベリアなどから飛来することからこう呼ばれています。

昭和50年頃から本格的に飛来するようになり、落穂をついばむ姿は安来市の冬の風物詩のひとつ。

能義平野や大山を背景にした白鳥を撮影できることからカメラマンにも人気のスポット。コハクチョウが生まれ故郷のロシアなどを目指す北帰行(ほっきこう)が始まる翌年3月頃まで、その姿を楽しむことができます。



島根県
安来市



社長雑記
日々つれづれ

「年末のゴミ出しはお早めに！」

大掃除の時期が来ました。

倉庫の片隅から処分に困って置き去りになっている廃棄物などが見つかることがあります。この時期になると何処の処分業者も忙しくなります。

早めに回収の依頼をして頂き、安心して新しい年を迎えて下さい。

また、廃棄物は適正に分別して頂きますようお願いいたします。



こんな活動をしています！

不法投棄物撤去作業 に参加しました。

しまね産業資源循環協会主催の不法投棄物撤去作業に参加しました。10月に不法投棄の状況を確認して今回の撤去作業となりました。山間の市道で道幅も狭く日中の交通量もまばらです。道路脇の斜面には空き缶、空き瓶、家電や廃タイヤなど様々な家庭ゴミ等が広範囲に捨てられており、雨上がりで滑りやすい急な斜面を登り投棄物を道路まで引き上げるのに一苦労。特に重量物の撤去は大変な作業となりました。自然豊かで一見綺麗な山々も一歩入ればゴミ捨て場と化しており、非常に残念な気持ちになります。ゴミは適正に処理して頂き、豊かな自然を守って行きたいものです。



島根・鳥取を中心に循環型地域社会の創造を
再生燃料油開発・廃油処理などの分野で目指します。